

このニュースレターの主な掲載情報:

- グローバルな政治・経済、マーケットの最新情報や分析見通し
- BFSのサービス、実際のトピックス、ケーススタディ
- 資産運用や人生設計に役立つ情報
- 知っておくと得するホットな情報

日本では知られない欧米の堅調な株価

日本の新聞等では、欧米というと、欧州の金融・財政危機問題、米国の失業率の高さや住宅市況の低迷など、もっぱら経済の停滞や政権の評判の悪さなどが報じられます。それを見る日本人は、「欧米も、まだまだ悪いんだ。」と、なかば自らを慰めるようにその状況を見るわけですが、実際は、ちょっと違う動きが欧米の株式市場で展開しているのです。

欧米の個別株の株価や株価指数を見てみましょう。期間はこのように取っていますが、これには特に意味はありません。次ページのコラムで示している通り、長い期間を取ってみるともっとこの傾向ははっきりします。

10年6月2日～10月29日の騰落率

IBM	+18%
フィリップ・モーリス	+30%
BHP	+32%
テレフォニカ(スペイン通信大手)	+38%
ヨーロッパ指数	+19%
ニューヨークダウ	+8%

同じような規模の代表的な日本の企業はどうかというと

6月2日～10月29日の騰落率

NTT	-2%
JR東日本	-15%
新日鉄	-19%
みずほ	-29%
東京電力	-19%
日経平均	-4%

これを見てどう感じますか。これらの欧米の外国株は、実際に弊社のお客様の国際分散投資ポートフォリオに組入れている個別銘柄の一部です。新聞やニュースで報道される欧米の経済状況とはかなり違いますね。年金支給開始の延長でフランスでは全国的なデモやストライキが起こり「これは日本も大変だが、フランスも大変だ。」と見ながら感じ、またギリシャの財政危機による公務員のリストラやコスト削減圧力に対する抗議デモをみると、内心日本はまだまだ、と感じてしまう。実は、これが海外のニュースを日本で見る場合に陥りやすい落とし穴なのです。欧米の株価は、新興国と同じように、実際には大変堅調です。

そして足元の日本の株価を見れば、惨憺たる状況が出現するのです。報道だけを見て、外国の状況を取り入れようとすると、大変な錯覚に陥る危険が高いということを認識する必要があります。報道でこのように偏向が見られるのは、やはり日本株に視点を絶えず置いているバイアスがあるといわざるを得ないのです。



そして忘れてはならないのは、このバイアスに乗っかって日本だけに投資していると、世界で日本株だけに起きている株価の下落というリスクが分散できず、いつまでたっても投資のパフォーマンスが上がらないということです。

尖閣と北方領土騒動の根元には、

いかんともしがた、菅民主党政権の外交能力のなさがあります。尖閣での日本政府の生ぬるい対応が中国の対日圧力に拍車をかけ、それに対して毅然とした対応をしない日本に「これなら少し北方領土で踏み込んで、日本は大した報復もするはずがない」と踏んで、今回のメドベージェフロシア大統領の国後島訪問となったわけです。

こうなると、救われないのは日本国民です。特に気の毒なのは、北方領土旧島民です。まるで負けたような気分になってしまいます。



政府の対応は相変わらずなまぬく、おっかなびっくり、そろそろとやっているという程度にしか見えません。まるで素人集団。そもそも菅さんは、社会運動家であり、外交などできる能力はもともとないのです。仙石さんが先頭に立っていますが、この人ももともと学生運動でならした反戦運動家です。さらには、外務省は、まったくあてにならない。こちらは米国の傘に長年いて、外交戦略など生み出す能力はずっと昔に消え去り、儀典局、ワインコレクターといったほうが、わかりやすいでしょう。

これで犠牲になるのは、日本国民で、このままでは、日本は世界の笑いものです。

今月の言葉

一人をほめたら、同時にものを頼んではいけない。ほめ言葉は無料でなければ価値がないのだ。

—私は1つのほめ言葉で、2ヶ月はやっている。

マーク・トウェイン



・BFSのミッションは、お客様とパートナーになり、正しく客観的なプランニングとお客様資産の運用を通じて、お客様を人生のゴール達成に導くことです。

・BFSは、金融機関とは完全に独立して、お客様利益最優先の公正なアドバイスを提供しています。

・BFSは、最新で高度な理論や知識、30年以上のグローバルな豊富な経験、強い倫理観で最高品質のサービスを提供しています。

・資産運用サービスやライフプランニング、BFSについてもっと詳しく知りたい方は、左記までお問合せください。

Web サイトもご覧ください
<http://www.bfsc.jp>

発行者 びとうファイナンシャルサービス株式会社(BFS)

代表取締役 尾藤 峰男

〒105-0022

東京都港区海岸1-2-20

汐留ビルディング3階

電話：03-6721-8386

携帯：090-4934-3121

FAX: 050-3156-1072

電子メール：info@bfsc.jp

お客様の人生に豊かさを、心に安心とゆとりを—BFSの大切な役割



この長年の日本株の体たらくをどう思いますか？

1ページでは、今年短期間の欧米と日本の株価を比較してみました。これを1980年代まで引っ張ってみると、もっと顕著な傾向が露見します。以下の図を見てみましょう。10年、20年、30年にわたり、他市場にくらべ劣っているのです。しかも、円建ての騰落率です。ここで、日本は日経平均、米国はNYダウ、4カ国には均等投資されています。

	日本	米国	日・英・米・香港
1984/1~09末	0.9倍	3.1倍	—
1993/1~09末	0.6倍	2.3倍	1.8倍
2000/1~09末	0.5倍	0.8倍	0.8倍

読者の中には、1984年の頃に比べれば、かなり円高だから、さぞ外国に投資していたら為替損が出ていることだろうと考える向きもあるでしょうが、実は1ドル233円の時にニューヨークダウに投資していても、3倍以上になっているのです。一方で、日本株は26年前に比べ下がっているのです。これが17年前、10年前でも同じ状況で、もっとも日本株が悪い。そして1ページの今年6月からも、同じに続くのです。

しかも、現在までの期間が短くなるほど、下げ幅が大きくなっているというのも尋常ではありません。今後日本はよくなると考えて、日本株オン

リーに賭けるのは、個人の自由ですが、果たしてこの過去状況を見て、今後の日本の復活だけに賭けていいものでしょうか。日本人として日本がよくなるように懸命に社会に貢献することは、いわば義務であるといってもよいですが、そのために必要な資産の運用まで日本に賭けてずぶずぶ行くリスクを背負うままでいいものでしょうか。人口減少、財政破綻懸念、巨額の公募増資や株の持合で自己保身に走る経営陣……。いまのさまざまな日本の現状を見ると、あまりにもリスクは高いといわざるを得ません。

外国株あるいは国際分散投資で、資産を海外に投資する必要性は今後ますます高まっていくでしょう。その意味で、弊社がお客様にお役に立てる余地はますます大きくなってきます。

自分自身では、なかなか外国株に踏み切れない向きも多いでしょう。あるいは最初は自分で買っても、その後のことを忘れてはなりません。銘柄やポートフォリオのフォローとケアがどうしても必要になります。運用は長い時間軸の中でおこなわれるからです。正しい外国株投資、国際分散投資という意味で弊社の果たす役割は、皆様のキーとなるものと自負しています。

第1回セミナーが「わかりやすく、本当に参考になった！」と好評につき

第2回『人生を安心して生きるための金融資産運用セミナー』を開催！

2010年11月27日（土）午後3時～午後5時

金融機関から完全独立のFPが「本当の資産運用とは」を徹底解説！

～参加無料、限定10名～

申し込みは、下記メールまたはTelにて「11月27日セミナー参加希望」として、お名前とご連絡先をお知らせください。

Eメール：info@bfsc.jp

Tel：03-6721-8386

このセミナーで、バブル崩壊の前と後の30年以上の経験と資産運用分野でグローバルスタンダードの最高資格を持つ、完全独立のアドバイザーだからこそ語ることのできる「こうすれば人生を安心して生きられる資産運用法」をお伝えします。

◆このセミナーで、老後や家族のために失敗しないお金の運用法がわかる！◆

日本の将来が不透明で先行き大丈夫かという不安がつの中、自分や配偶者の老後や家族の将来はどうなるか、一人で考えめぐねていても解決の糸口は見つかりません。

証券会社や銀行に相談しても、本当に役に立つ情報は提供してくれない、自分たちに実入りのいい商品ばかりすすめると感じることはありませんか？しかし一度しかない人生、家族とともに安心とゆとりをもって生きていくためには、老後の資産運用で失敗はできません。

金融機関から完全独立で、お客様の利益を最優先に考えるびとうファイナンシャルサービスだからこそ、お話できることがあります。30年以上の経験とグローバルスタンダードの最高資格をもつFP・資産運用アドバイザー、尾藤峰男が「本当の資産運用とは」をこのセミナーでお話します。土曜の午後のひと時を、人生を安心して生きるために使ってみませんか。

セミナーでお話しする内容

- 日本株の停滞にどう対処するか。
- 証券会社や銀行にだまされずにどう対抗するか。
- 安心して人生を過ごせる資産運用はどうしたらできるか。
- 財政破綻など日本のリスクが高まる中、どう資産防衛をするか。
- 日本株に比べはるかに好調な新興国やグローバル市場の魅力

セミナーに参加された方の声

- 奥の深い内容だが、大変わかりやすかった。
- 本当に参考になった。
- お金の運用での時間の大切さがわかった。
- 証券会社への対応法がよくわかった。
- 日本だけではお金の運用はうまくいかないことがよくわかった。

第2回『人生を安心して生きるための金融資産運用セミナー』

日時：2010年11月27日（土）15：00～17：00

場所：TKP東京駅丸の内会議室ミーティングルームA（日比谷帝劇ビル地下1階）

<http://tkpteigeki.net/access/index.shtml>

（最寄り駅：有楽町・日比谷駅 三田線寄りの帝劇入り口B3出口から入るとわかりやすいです。）

～参加無料 限定10名～

申し込みは、下記メールまたは電話にて「11月27日セミナー参加希望」として、お名前とご連絡先をお知らせください。

Eメール：info@bfsc.jp

Tel: 03-6721-8386